

「SDGs クリエイティブアワード」 GOLD AWARD 受賞 本市の高校1年生・飛川優君が市長へ受賞作品を報告！！ ～市立檜原小でのダンボールコンポストの取組を動画に～

市内の工学院大学附属高等学校 1年生の飛川^{とびかわゆう}優さんが、SDGs をテーマとした映像コンテスト「第2回 SDGs クリエイティブアワード」(応募期間：2019年10月10日～2020年1月10日)における3月7日の審査結果公開で、中学生から成人まで330もの作品エントリーの中から、最高の賞である GOLD AWARD を受賞しました。

受賞動画は、市立檜原小学校での1、2年生が行っている「ダンボールコンポスト」の取組を伝えるもので、3分の作品です。

1、2年生の子どもたちが楽しく、生ごみを堆肥化し、その堆肥で作った野菜を食べる、というサイクルを子どものうちから楽しみながら学び、環境問題に取り組んでいる姿を描いています。

記

1 日時 3月26日（木）13時15分

2 場所 本庁舎3階 市長応接室

3 来庁者 飛川 優さん(工学院大学附属高等学校1年生)

4 作品名 ごみが資源に！～ダンボールコンポストから広がる環境教育～
<https://youtu.be/Ryr0yXnzkHg>

<問い合わせ> 資源循環部ごみ減量対策課長 坂野 優一

電話042-620-7256